


三好市井川町辻地区は江戸から明治時代、祖谷地方などでさいばいされた葉たばこの在来種・阿波葉の集積地で、きざみたばこの製造で栄えた地区です。




2024年10月9日
三好地域(三好市と東みよし町の全域)は
日本ジオパークに認定され、
「三好ジオパーク」が誕生しました。

三好ジオパーク
Miyoshi Geopark




制　作　辻小学校5年生
　　辻の魅力を発信し隊9名
制作日　2025年2月13日
お問合せ　三好市観光協会
　　(一社)三好市観光協会
　　☎ 0883-76-0877

## ① 吉野川に架かる赤い吊り橋 美濃田大橋（みのおおはし）



美濃田大橋は吉野川の中で唯一車が通行できる吊り橋です。この橋の魅力を3つ紹介します。



1つ目は、赤いトラス構造ということです。トラス構造とは、三角形状の橋のつくりです。軽い上に丈夫で、見た目もはなやかなので、観光スポットとして価値があると思います。一度歩いてみると、とてもがんじょうでした。

2つ目は、橋が車道と歩道に分かれているということです。このことにより、歩行者も自転車を運転する人も安心して通ることができ、事故は起きにくいです。

3つ目は、橋から美しい景色をながめることができるということです。ゆう大な吉野川の流れを見ることができます。川の表面に石が出てきているので気になります。

## ② 辻の歴史を感じる 辻の浜・辻の渡し跡



辻の玄関口として大正時代まで大変にぎわっていた辻の浜・辻の渡し跡の歴史を2つ紹介します。




1つ目は、辻の玄関口として大正初め頃まで大変にぎわっていたということです。江戸時代から大正時代初め頃まで、辻の浜から徳島を経て、関西か北海道まで刻みたばこは、運ばれていたそうです。昔はにぎわっていたのに、今は、そのふんいきが全然感じられず、さびしいです。

2つ目は、東みよし町昼間と三好市井川町を結ぶ渡し船があったということです。美濃田大橋ができるまでは、この辻の渡しから対岸へ舟が行き来していたと聞き、橋ができて「とても生活が便利になったなぁ」と思いました。

## ③ 伏流水が隠し味の酒造り 芳水酒造（ほうすいしゅぞう）



大正時代から続いている有名な「芳水酒造」の3つの魅力を紹介します。



1つ目は、様々な種類の日本酒をつくっているということです。季節限定の酒の開発にも力を入れています。四国酒まつりでは、国内からたくさんのお客さんが来ます。人と人との交流の温かさを感じます。

2つ目は、吉野川の伏流水を使っているということです。芳水の酒は、水道水や地下水を使っている酒より美味しいと思います。

3つ目は、「芳水」という酒銘が吉野川と関係があるということです。芳水の名の由来は、吉野川を芳水「よしのみず」と読まれていたことから、芳水と命名されたそうです。「芳水」の由来が面白いなと思います。

## 4 明治時代から生き続けている 勇楼(いさむろう)旅館



**勇楼旅館の魅力を3つ紹介します。**



1つ目は、明治、大正、昭和、平成、令和とともに生きてきた旅館であるということです。134年前の建物なので、色々な昔の家具や壁、床などに触れることができ、昔にタイムスリップした気分を味わうことができます。この先もずっと生き抜いてほしいと願っています。

2つ目は、交通の便のよい旅館であるということです。遠くの県からでもバス、高速道路、JRを使って来ることができるので、とても便利です。だから、沢山の人に勇楼旅館に来てほしいです。

3つ目は、女将さんのおもてなしが温かいということです。わたしも女将さんのおもてなしを受けながら、田舎に帰ってきたような気分を味わってみたいです。

## 5 辻の歴史に残る 旧石川邸



**1877年に建てられた旧石川邸の魅力を3つ紹介します。**



1つ目は、国の有形文化財になっているということです。この建物の花灯窓は、金閣寺にも使われています。これからも、辻の住民としてこの建物を大切にしていきたいです。

2つ目は、一つの建物なのにいろいろな役割を果たしていたということです。1、2階は葉タバコの製造所と住居、3、4階は葉タバコを買いに来た人が泊まる旅館の役目を果たしていたそうです。とても多目的な建物だと思いました。

3つ目は、今から147年前に建てられているということです。花灯窓やなまこ壁がある珍しい家の作りなので、旧石川邸を観光客のみなさんにも見学してもらいたいです。

## 6 長い間大切にされてきた 辻のいろり



**131年前に建てられた古民家「辻のいろり」の魅力を3つ紹介します。**



1つ目は、国の登録有形文化財に指定されているということです。2階の白い壁一面に残る黒塗の跡が歴史的に価値がある建物としてとらえられています。墨の跡が残っている古民家なので、観光客の人たちにも訪れてほしいです。

2つ目は、毎週土曜日に土曜市が行われているということです。野菜や惣菜を買い求める住民でにぎわっています。スーパーが近くになくても野菜などが買えるから便利だと思います。

3つ目は、イベント事がたくさんあるということです。施設を居酒屋に見立てたイベントも開催されました。他にも「茜」を使った染色体験もできるので、たくさんの人たちに立ち寄ってもらいたいです。

## 7 辻の史跡 今宮神社



**今宮神社の魅力を3つ紹介します。**



1つ目は、国指定登録有形文化財なっているということです。大正4年頃に建てられました。1578年頃に登録されました。

2つ目は、毎年福投げがあるということです。住民のみなさんは、とても嬉しいと思います。現在の1等賞の商品は、お米20キロなので、食費が浮くと思います。今宮神社は住民にとても愛されていると思います。

3つ目は、辻の町が1度に見えるということです。美しく、古い町並みを観光客のみなさんにも見てほしいです。

## 8 「鮎焼き」の魅力 朝日屋



**朝日屋は創業80年の和菓子屋で「鮎焼き」が作られています。その魅力を3つ紹介します。**



1つ目は、ピンと跳ね上がったユニークな形をしているということです。今にも動き出しそうな形をしており、見た目も楽しめる和菓子です。

2つ目は、厚めの甘い皮に包まれたあんこがちょうどいい分量であるということです。あんこより厚めの生地が好きな人にとっても、最高の和菓子です。

3つ目は、値段が安いということです。子どもでもお小遣いを使って買える安さです。スーパーに10個入りの鮎焼きが売っていると、ついつい買ってしまいます。

## 9 桜ぴかいち 金竜山(きんりゅうざん)農村公園




**毎年3月下旬頃に、桜が約100本咲く金竜山農村公園があります。この公園の魅力を3つ紹介します。**



1つ目は、吉野川を一望できるということです。また、辻小学校の校歌に金竜山という言葉が入っているので、卒業生は公園に行くと小学校の思い出にひたることができると思います。

2つ目は、東屋、ベンチなどの施設があるということです。日光を浴びながらベンチに座っていたら気持ちがいいと思います。東屋で家族とご飯を食べたら、自然に笑顔になれると思います。

3つ目は、3月にソメイヨシノ、ボタン桜が約100本咲くということです。晴れた時にこれらの桜を見ると、心が落ち着くと思います。